

「緑の守り手認定事業者」への認定証の授与について

【森林整備課】

令和7年9月2日（火）に近畿中国森林管理局において、「緑の守り手認定事業者」への認定証の授与式を行いました。

緑の守り手認定制度については、森林土木工事の事業者の皆様が、平常時には地域のボランティア活動、災害時には最前線で地域の安全・安心の確保を担うなど地域を支える担い手として果たされている役割・貢献を「見える化」し、地域住民等の認知度の向上を図ることを目的としています。

認定に当たっては、事業者の「森林土木工事の継続的な受注を指す継続貢献」「災害対応活動」「国土緑化活動」「ボランティア活動」「環境配慮」「労働安全」「人材育成」「ICT 施工」の8つの取組実績をもとに審査し、認定グレードは、プラチナ、ゴールド、シルバーの3段階となっています。今回の認定では、プラチナグレードの認定事業者は1者、ゴールドグレードは7者、シルバーグレードは11者という結果になりました。

当日の授与式では、プラチナグレードとして認定された別府建設株式会社に近畿中国森林管理局長から認定証の授与を行い、局長から、緑の守り手認定事業者として今後も誇りを持って事業を継続していただくようお願いするとともに、別府建設株式会社からは「このように認定いただいたことは社員にとって、たいへん励みになる。引き続き努力をしていきたい。」という力強いお言葉をいただきました。

当局においても、引き続き、地域の守り手である森林土木事業者の皆様を対象とした「選ばれる森林土木」に向けた取組を継続していきます。

なお、ゴールド、シルバーの認定事業者の皆様には、最寄りの各森林管理署長等から認定証を授与することとしています。



認定証授与式の様子



認定事業者からのお言葉

詳しくは、下記のホームページ「緑の守り手認定事業者の公表について」をご覧ください。

(https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/apply/publicsale/20250529_mamorite.html)



令和7年度夏期就業体験実習（インターンシップ）を実施しました。

【三重森林管理署】

例年、この時期に森林管理局・署等では、大学生等の方々の学習意欲を喚起し、高い職業意識の醸成や国有林野事業および林野行政に対する理解を深めてもらうことを目的に就業体験実習（キャリア実習及びインターンシップ）を実施しています。

三重森林管理署では、令和7年9月1日（月）から9月5日（金）の5日間、岡山大学大学院環境科学自然科学研究学科1年生、公立鳥取環境大学環境学部環境学科3年生、近畿大学農学部環境管理学科3年生の3名を受け入れ、就業体験実習（インターンシップ*）を実施しました。台風の影響により、一部日程を変更しましたが、概ね予定どおり国有林および市場などの関係機関での様々な現場において、実施することができました。

【主な日程】

- 1日目：伊賀市長への表敬訪問、ふれあいイベント実施に向けた伊賀市担当者との打合せ、現地踏査
- 2日目：森林整備事業の実施状況の確認や来年度生産事業の現地確認とドローン撮影
- 3日目：木材市場や製材工場の視察、空中写真、オルソ画像の基礎、撮影したドローン撮影のオルソ化
- 4日目：緑の守り手認定証授与の取材、ホームページ掲載用原稿の作成
- 5日目：森林官の仕事、降雨後の危険個所の確認、獣害対策（くくり罠の設置方法）、若手職員との意見交換



イベント実施個所の現地踏査



空中写真、オルソ画像について説明



森林官の仕事について説明



木材生産現場を確認



木材市場を視察



若手職員との意見交換

5日間の就業体験後、実習生からは、「大学で勉強していることと現場での実態が繋がった」「5日間だったのが短く感じた」「国家公務員という漠然としたイメージしかなかったが、明確になった」「林野庁に就職したいという気持ちが強くなった」との感想が聞かれ、就職先を検討する彼らにとって、とても有意義な5日間になったのではないかと思います。また、同行した若手職員への良い刺激にもなっているようでした。

三重森林管理署では、今後も国有林野事業および林野行政に対する理解を深めてもらうため、就業体験実習を実施してまいります。

※インターンシップ：実習対象の人は、応募書類提出時点で、卒業・終了前年度ないし卒業・終了年度の大学・大学院等の学生（日本国籍を有する方）。なお、受入期間は5日間以上1か月間以下となります。

安来市吉田交流センターで森林教室を開催しました。

【島根森林管理署】

令和7年8月4日（月）に、安来市吉田交流センター（以下センター）から依頼を受け、寿会（ふれあいの森協定相手方）及び島根森林管理署による森林教室を開催しました。午前中は「吉田子ども塾」として、センター主催で夏休みの宿題等を行い、午後から森林教室を行いました。12名の子どもたちと寿会が参加して、紙芝居、木工工作及び丸太切りを行いました。



紙芝居（森林の働きについて）



丸太切り



木工工作

島根森林管理署では、このような活動を通じて豊かな森林を育むことの大切さを知っていただくために、引き続き環境教育や森林教室などに取り組んでまいります。



集合写真

森の巨人たち100選「桃木峠の大杉観察会」を開催しました！

【福井森林管理署】

令和7年8月3日（日）に、山の日を記念して森の巨人たち100選「桃木峠の大杉観察会」（主催：桃木峠の大杉保全協議会、共催：福井森林管理署、阪谷公民館）を開催しました。

桃木峠の大杉は、大野市の経ヶ岳^{きょうがたけ}国有林に所在する樹齢500年以上と言われるスギの巨木です。現在の福井市で生まれ白山^{はくさん}を開山した泰澄^{たいちよう}大師が、峠を通過する際に食事し、食後に地面に突き刺した箸が成長して大杉になったという伝説があります。大野市指定天然記念物に指定されており、平成12年に「森の巨人たち100選」に選定されました。

当日は参加者約20名が、集合場所の大野市阪谷公民館からマイクロバスに乗り合わせて大杉に向かい、現地で桃木峠の大杉や周囲の自然観察を行いました。また、森林への理解を深めてもらうために森林管理署で用意した森林に関する紙芝居とクイズを実施しました。

参加者は山道に不慣れな方もおられ、バスを降りてから大杉までの約5分の道のりを苦労しながら歩いていましたが、幹回りが8mもある大杉を見ると、その迫力に圧倒されつつも、笑顔で大杉に触れたり、参加者同士で記念撮影をしたりしていました。子どもたちは、大杉の幹回りの計測を楽しそうに手伝い、紙芝居の読み聞かせやクイズでは一番前に座り話に耳を傾け、積極的にクイズに答えていました。

日頃、大杉の保全活動を行う桃木峠の大杉保全協議会や地域住民の方々に感謝するとともに、福井森林



大杉の看板前での集合写真

管理署も大杉を後世に引き継ぐことができるよう責任をもって保全に努めてまいります。

夏休み子ども自然観察会（おおしど大志戸国有林）を開催しました。

【島根森林管理署】

令和7年8月2日（土）、連合島根と「社会貢献の森」として協定を結んでいる大志戸国有林内の「連合の森」において、「夏休み子ども自然観察会」が開催されました。

主催は連合島根、森林労連島根分会、連合島根雲南地区会議によるもので、子ども52名、家族スタッフ併せて128名が参加しました。

今年の自然観察会では、「紙芝居」「木工教室」「魚つかみ体験」の3つのプログラムを行いました。



紙芝居の様子



木工教室（完成した作品）

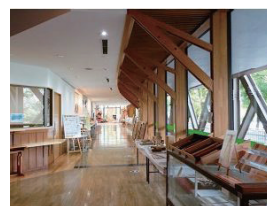
島根森林管理署では、「紙芝居」「木工教室」を担当し、森林教育として子供たちに木材の特性や森林に興味を持ってもらえるよう取り組みました。今後もこの活動に協力してまいります。



集合写真

お知らせ

森林のギャラリー（局庁舎1階）



【技術普及課】

○現在の展示は、令和7年10月1日（水）～10月23日（木）島根県、技術普及課・資源活用課が行っています。

○ギャラリーの展示内容は下記の局ホームページでお知らせしています。

<https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/policy/business/sitasimou/gallery/index.html>



【技術普及課】

○「水都おおさか森林（もり）の市 2025」を開催します。

【開催日】令和7年10月26日（日）10時～

【テーマ】「行こう！万博の次は森林（もり）の市だ！」

【場 所】毛馬桜之宮公園・桜ノ宮合同庁舎

（JR大阪環状線「桜ノ宮」駅西口から徒歩5分）

最新情報は下記のホームページをご覧ください。

<https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/koho/event/morinoichi/index.html>



【島根森林管理署】

○ 再造林の推進に向けたシカ被害対策に係る現地検討会の開催について

【開催日】令和7年10月30日（木）

詳しくは下記のホームページをご覧ください。

<https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/simane/information/20250916.html>

